

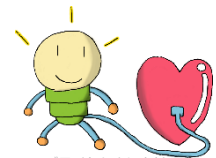
Bright むさし小杉 NEWS

IDA Iモールにサンタクロースがやってきた！

11月19日、ブライトむさし小杉のあるIDA Iモール商店街のビーガンバーガー ナーリッシュ様にサンタがやってきました。
ビーガンバーガー ナーリッシュ様は当事業所の実習先としてご協力いただいています。
オーナーから「サンタが来るので皆さんでお越しく下さい！」とお声がけいただき、メンバー&スタッフで会いに行ってきました。

本場フィンランドの（自称）356歳のサンタが出迎えてくれました。
日本に来るのは90回目だそうです。
豊かな白いひげを蓄え、見なれた赤いコスチュームのサンタは温かい笑みを浮かべていました。

「Give me chocolate!」と言ってチョコレートをいただいたり、膝の上に乗って写真を撮ってもらったりと、皆童心に戻りはしゃいでいました。



ブライトむさし小杉
オリジナルキャラクター
【むさこん】



日々、就労に向けて頑張っているメンバーさんにとって癒しの時間になったようです。

今年もあとわずか。心残りがないように、スタッフもメンバーさんたちと一緒に頑張ります！

一番はしゃいでいたのは、当事業所のセンター長だったかもしれません（笑）

就活
One Point

ハローワーク求人票の見方2

今回はハローワーク求人票の見方（ポイント）として、“就業場所”についてご説明します。

②就業場所

求人に応募して採用された場合の、実際の勤務場所となります。ポイントは、本社と就業場所が異なる場合もあるという点です。応募書類を送付する場所を間違わないようにしましょう。間違った場合、企業から「注意のない人物」という印象をもたれてしまい、応募書類に目を通す前の段階から、ネガティブな印象をもたれてしまう可能性が高いです。

別の視点で見ると、本社と就業場所が異なることで、いざ就労した際に、障害者雇用に対する企業スタンスのギャップを感じる可能性があります。具体的には、本社としては障害者雇用に対する社会的責任が高くとも、支社（いわゆる現場）は“現場の運営を回すこといっぱい”といった状況です。この点については、企業側も、いきなり現場配属ではなく、採用当初は、人事の目が届く管理本部（総務部、経理部、人事部といった本社配属）に配属して、いつでもフォローができる仕組みを築いている企業もあります。